

# 社内報の価値を考える

～社内広報の可能性を楽しむ～

## ●プログラム●

- ◆日時：2014年11月28日(金) 14:00～17:00
- ◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」
- ◆講師：(株)メイテック 執行役員 清水 園江氏
  1. 社内報の価値とは何か(メディアの存在意義編)
    - 事例：メイテック
      - (1) 会社存続の危機下(リーマンショック時)で断行した、社内報改革とは
        - ・なぜ、社内報改革 だったのか
      - (2) 「紙メディア」、「WEBメディア」のすみわけ方、メディアの整理
        - ・危機だからこそ見えた社内報の機能と価値
    - 2. 社内報の価値とは何か(編集のスタンス編)
      - (1) 社内報編集に欠かせない鉄板フレーム→『情報のGAP』フレーム
        - 事例：フレームを使ってみる各社の事例
          - ・パナソニック、リクルート
        - (2) 『情報収集』とは何か
          - ・情報(事実)の集め方自体を考える
          - ・広報部は「第二人事部」である
        - 事例：リクルート
        - (3) 『効果』とは何か
          - ・“青い情報”と“赤い情報”。それぞれに異なる効果の考え方
    - 3. 社内広報の可能性を楽しむ(社内広報が経営に欠かせない機能であるために)
      - (1) 『情報』が持っている“性格”を経営視点で見極める
      - (2) 『情報の再生産性』とは何か
        - 「伝える」と「伝わるように伝える」の大きな違い
      - (3) 広報部という組織の立ち位置を問う＝経営にとっての存在価値を考える
        - 事例：メイテック
          - ・メイテック広報部の「目指すべき姿」
          - ・日本経済新聞に取り上げられた“あるメディア”へのチャレンジ

※15:45～17:00 グループ討議と総括

コーディネーター：歴史街道推進協議会(元 パナソニック) 松枝 健夫氏

## ●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ(<http://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます

### ●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会  
担当：村野 E-mail [murano@bri.or.jp](mailto:murano@bri.or.jp)  
〒102-0083  
東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F  
TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

130147		◆2014.11.28 社内報の価値を考える	
会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			